

おすすめ図書！

- ①月の名前
高橋順子 文
佐藤秀明 写真
- ②お月さんのシャーベット
ペク・ヒナ 作
長谷川義史 訳

旧暦の8月15日は十五夜、中秋の名月です。現代の暦では、9月7日から10月8日までに出る満月のことを呼び、今年は9月21日です。

人と月との関係は古く、神話の月の神様やかぐや姫、月のうさぎなど、現代でも絵本や詩などの文学作品に月を題材としたものが多数あります。図書館にも多数所蔵していますが、その一部を紹介します。

【あらすじ】

①月の名前
宇宙船や月探査機によって月の科学情報もたらされるようになった現在でも、月は神秘性を保ち、賞賛の対象となっています。望月、弓張月などの天上の月だけではなく、長月、萩月などの暦月や玉兎、嫦娥などの月に関わる伝説の名称の意味、月餅、花鳥風月などの「月」と付いている言葉の意味を、月の詩や写真と共に紹介しています。



②お月さんのシャーベット
あまりに暑く寝苦しい夏の夜、アパートのみんなは眠るためにエアコンや扇風機をつけていました。あまりの暑さにお月さまが溶けてしまい、それに気付いたおばあさんは、大きなたらいでお月さまのしずくを受け取ります。そして、そのしずくをシャーベットの型に入れて冷蔵庫にしまします。その後、アパートが停電すると？
建物の模型と紙に書いた動物を切り取り、立体と平面を組み合わせた楽しい絵本です。



10月図書館カレンダー

2021年		10月 October					
日	月	火	水	木	金	土	
					1	2	
3	4	5	6	7	8	9	
10	11	12	13	14	15	16	
17	18	19	20	21	22	23	
24/31	25	26	27	28	29	30	

【お知らせ】

◎お話し会は、新型コロナウイルス感染症の拡大の状況により中止となる場合があります。

■休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)、図書整理日
◎お話し会：10月9日 午前10時半から

図書館ホームページでは、利用案内や図書検索など図書館の情報を掲載しています▶

☎ 図書館 ☎ 029-897-0647



お城巡りがより楽しくなる「御城印」

神社仏閣を参拝した証に頂ける「御朱印」のお城バージョンともいえる「御城印」をご存じですか。

最近の戦国武将人気により、ゆかりのあるお城を巡る人たちが増え、「登城証明」である御城印を集めることがブームの兆しを見せています。

■御城印と御朱印の違いとは？

多くのお城で発行・販売されている「御城印」は、1990～91年頃に「松本城」(長野県松本市)で始まったのが最初であるといわれています。

御朱印は、お寺や神社に参拝した際に納経の証として頂くもので、事前に用意されている「書置き」の他、宮司や僧侶などに直接、御朱印帳に書いて頂く「直書き」の方式を取っているところもあります。

御城印は、お城を訪れた記念に購入するもので、

ほとんどが印刷されたものになっています。

また、御城印専用の「御城印帳」もたくさん発売されています。透明のポケットホルダーに入れたり、開きやすい蛇腹式でのりやテープで貼り付けるものが主です。

■お城の歴史を学べる

御城印には、登城したお城の名称だけでなく、歴代城主の家紋や花押、発行元の角印などが押されています。複数の家紋や武将、お城のシルエットがデザインされているものもあり、個性豊かです。

実際にお城を訪問し、その中で展示されている史料などを見学すればお城の由緒や城主となった戦国武将について知ることはできますが、御城印を見返せばお城の歴史に思いをはせることができます。

歴史博物館では、4月から穴倉城や戸崎城などの御城印の販売を開始し、大変好評です。また、本市を代表する武将である本堂家の笹竜胆と八石壺がデザインされた、オリジナルの御城印帳を新たに販売しています。ぜひ一冊持ち歩いて、お城巡りを楽しんでみてください。



☎ 歴史博物館 ☎ 029-896-0017



あじさい
土曜名画座

▶日時 10月2日 日午後2時
※午後1時半受付・開場

▶定員 先着20人

▶場所 あじさい館 [視聴覚室]

▶料金 100円

☎ 霞ヶ浦中地区公民館
☎ 029-897-0564

【鑑賞の注意点】
マスクは必ず着用してください。

『サクラ花-桜花最後の特攻-』 [上映時間 88分]

出演 大和田健介、緒方直人、磯山さやか

【ストーリー】

終戦直前の昭和20年初夏、作戦のため、一式陸攻機に搭載され、茨城県・神之池基地から激戦地・沖縄へ向かう乗員8人。彼らには、想像を絶する過酷な運命が待っているのだった。

あじさい館ホール展示作品紹介

【10月は「切り絵同好会」の作品展示】

あじさい館では、市内の文化団体などが作成した絵画や写真、陶芸、工芸品の芸術作品などを月替わりで展示しています。ぜひ、ご覧ください。

▶期間 9月28日 日～10月24日 日

☎ 生涯学習課 ☎ 029-897-0564

投稿作品

出島短歌会	紫陽花俳句会	千代田俳句同好会
人さけて密さけて来し防波堤辺野古の海の夕焼けは濃し ゆき暮れてカーナビ見ても迷うだけ車の窓を叩く雨つぶ 振れたる蕾を静かに解きながら夕顔咲きて盆が来たれり 金へびの卵のふたつ並ぶれば刈残しおく一群の草	風受けて軒下揺らす吊し柿 帰省子の声にぎやかに祭笛 まどろみの覚めて良夜の一句かな 秋の夕閃光近き胸さわぐ	万緑や田圃十枚二峰映ゆ 胡瓜揉みひとりで食す酢の強さ 万緑やバット振る子の力瘤 山滴る山の機嫌はみえぬもの 子に会へる日きつと来るはず凌霄花
近藤善康 中島良平 横井正子 石塚清 沽野はつ子 斉藤勝広 兼西清治 竹村啓子 いだいさを	飯田功 久保庭悦子 田能幸雄 福田宏通	今井守 福田妙子 大塚隼人 飯沼礼子 大西周

投稿作品(俳句・短歌・川柳)を募集します。10月4日までに秘書広報課(〒315-8512 上土田461)へお願いします。※応募多数の場合は掲載されない場合がありますのでご了承ください。また、音声読み上げに対応するため、漢字にはふりがなの記載をお願いします。(内容を確認する場合がありますので、電話番号もご記載ください。)